

心ひとつに部員

スポエド JAPANの神髄受け継ぐ



バレー部は初の関東大学リーグ1部昇格を目指す。鍵はサイズを補う工夫と運動量だ。

◇24年度秋季関東リーグ戦全試合結果◇

月日	対戦スコア	対戦相手
9. 7	1-3	松山大学
9. 8	0-3	藤田医科大学
14	3-2	早稲田大学
15	2-3	山梨大学
21	3-3	東亜大学
22	1-3	敬愛大学
28	3-0	平賀学院大学
29	0-0	神奈川国際大学
10. 5	3-0	立教大学
12	3-0	立教大学
13	3-1	立教大学

スポーツ江戸川大
2025年 www.edogawa-u.ac.jp
〒270-0198 千葉県流山市駒木 474



「なるほど」? 「意外」? バレー部MBTI診断

MBTIとは心理学に裏付けられた性格診断で、自分の長所や短所、組織内での役割などを理解する助けになると言われる。「なるほど」か「意外」か、部員の診断を見てみると...

中野凛
経営社会3年
東京・日女大二階堂高

ISFJ (擁護者)
他者への思いやりと共感力にたけている一方、自己主張やリスクを伴う行動には慎重。
「人前は苦手」と確かに他者を立てる方。ただ試合では強烈サブでぎりぎりを狙う。進んでリスクを冒す点はちょっと違う?

沼倉美桜
子どもコミュニケーション2年
埼玉・細田学園高

ISFP (冒険家)
自由な発想と豊かな想像力。アイデア表現のためには積極的に行動できる。一方で計画は苦手。
「面倒くさがりな一面があるが、興味のあることには熱心」という。おおむね当たっているようだ。

伊東知優
マス・コミュニケーション2年
東京・日女大二階堂高

ESFP (エンターティナー)
社交的で人を楽しませることが好き。自由で好奇心旺盛。常に刺激を求める。「目の前の楽しいことが大好き」と自任する。まさにエンターティナー!

瀧佑美
子どもコミュニケーション2年
東京・淑徳SC高

ENFP (運動家)
自分の感情や思いを表現することが得意で、人とのつながりを大切に。好奇心旺盛。計画性はあまりない。「メンタルが弱すぎて逆にポジティブに」というのは、自分をさらけ出せるから。ある意味当たっている。

世界を知るコーチ陣が個々の良さ伸ばす

昨年インカレで課題見つけた。昨年の秋季リーグは前苦しみながら、最終5試合を5連勝で締め、12チーム中6位だった。今季はその一歩先を見据える。キャプテンの佐藤裕佳(経営社会4年、千葉植草学園大)は、1部昇格を最大の目標としながら、リーグ戦の後は東日本インカレや全日本インカレなどの大きな大会がまだあるので、そこは一つでも多く勝つように、1回戦負けで終わらないようにする。力強く語る。チームの課題があらわになったのが昨年11月のインカレだった。1回戦で戦った愛知学院大は身長170センチ以上が9人。170センチ2人の江戸川大は接戦に持ち込んだものの、厚いブロックに阻まれ、1-3で敗れた。佐藤は「身長が高いチームであるうと、関係なく戦えるように」と課題を挙げる。

躍進を誓うチームについて副キャプテンの羽田莉乃(経営社会4年、右からキャプテンの佐藤裕佳、副キャプテンの羽田莉乃)。

「コンビバレーで劣るサイズ補う」
VリーグKUROBEから丸山貴也監督を迎えて3年目となる。昨年からは丸山監督いわく「いい感じ」と学生に期待する。

サイズで劣っても一人一人が持つ良さを伸ばすことで、チーム全体の力を上げる。それが、丸山監督の目指していること。丸山監督は「日本代表で経験して、中国、米國など大型チームを相手に激しい戦いを繰り広げたかつてのJAPANの神髄を受け継ぎ、1部昇格を目指す」と意気込みを語る。

☆紙面編集 大内 郁人 小野 愛蔵 藤田 紗由



江戸川大学
EDOGAWA UNIVERSITY

社会学部
人間心理学科
現代社会学科
経営社会学科

メディアコミュニケーション学部
マス・コミュニケーション学科
情報文化学科
子どもコミュニケーション学科

